

福岡市の子ども施策

～現状と子ども・子育て支援の取り組み～

福岡市こども未来局総務企画課
林 紀子

平成27年12月14日

福岡市の基本データ

■人口 **1,531,919人** (平成27年9月1日現在推計)

- ・ 年少人口 13.2% (201,544人)
- ・ 生産年齢人口 65.2% (999,401人)
- ・ 老年人口 20.3% (311,166人)

※ 参考: 福岡都市圏 2,499,790人 (17市町)
福岡県 5,092,990人

■世帯数 **766,413世帯** (平成27年9月1日現在推計)

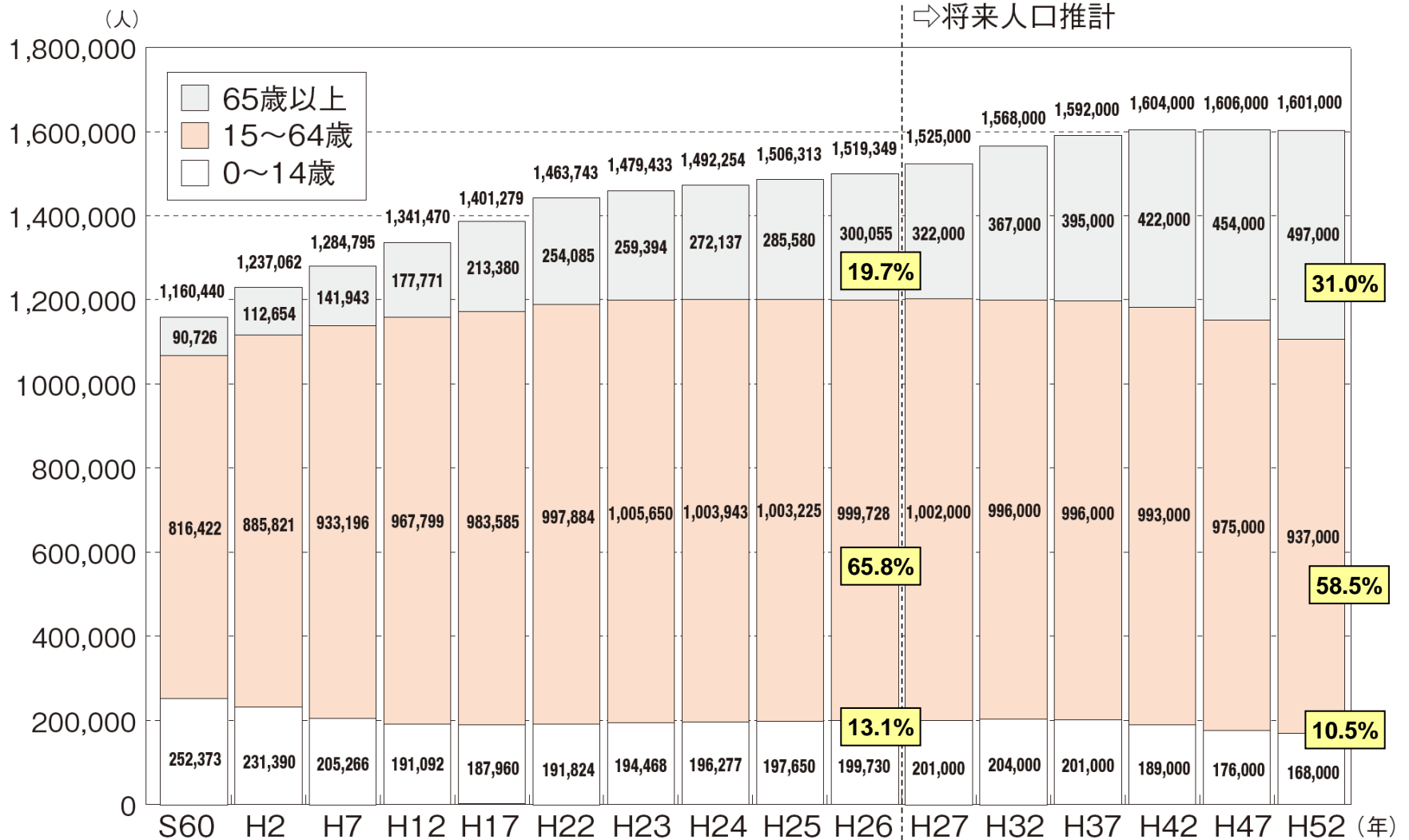
■就業人口 **864,388人** (平成26年経済センサス)

- ・ 第1次産業 0.1% (554人)
- ・ 第2次産業 10.2% (87,999人)
- ・ 第3次産業 89.7% (775,835人)

■面積 **343.38 km²** (平成26年10月1日/国土地理院)

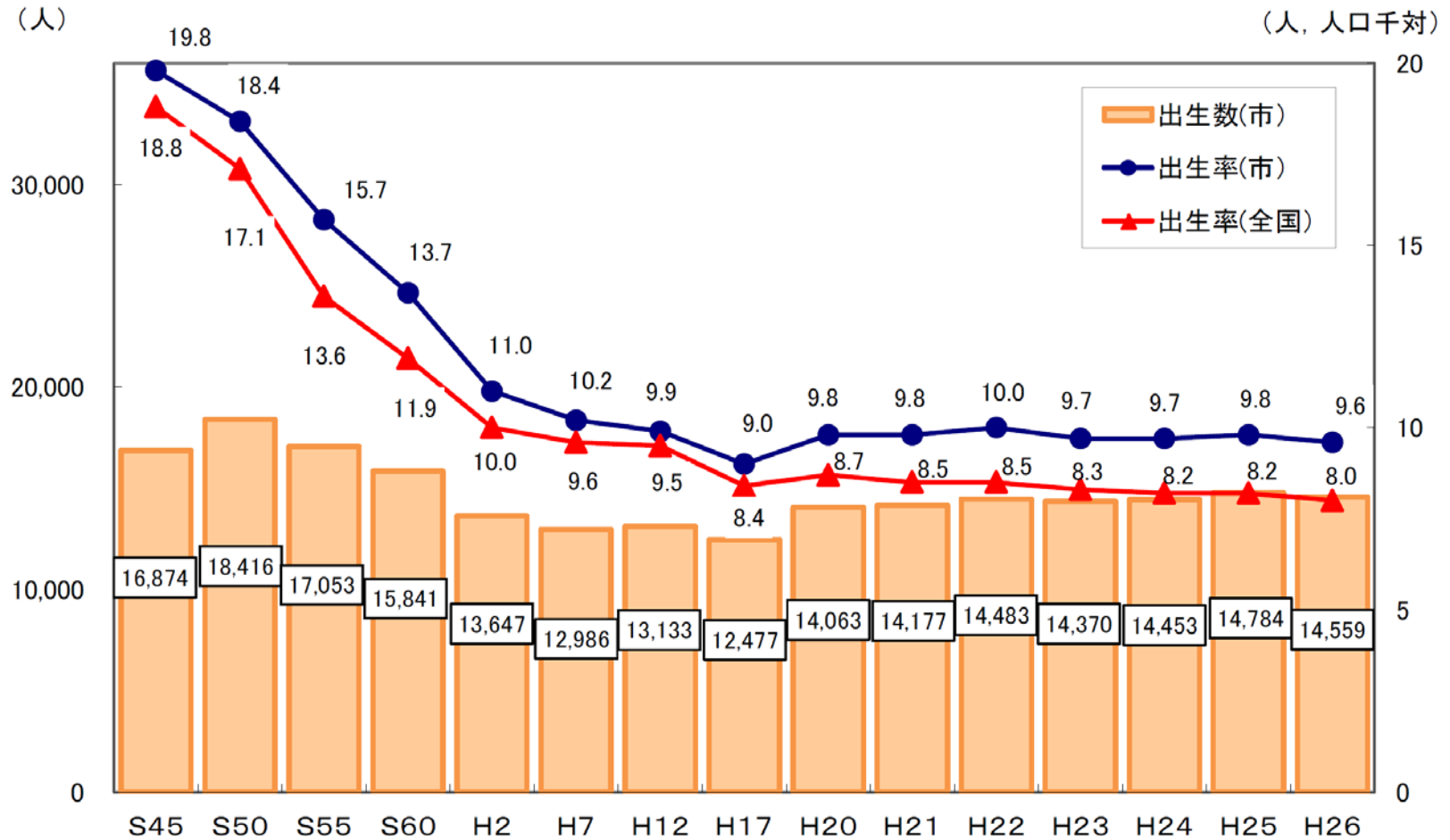
■行政区 **7区** (東・博多・中央・南・城南・早良・西)

人口・年齢構成の推移

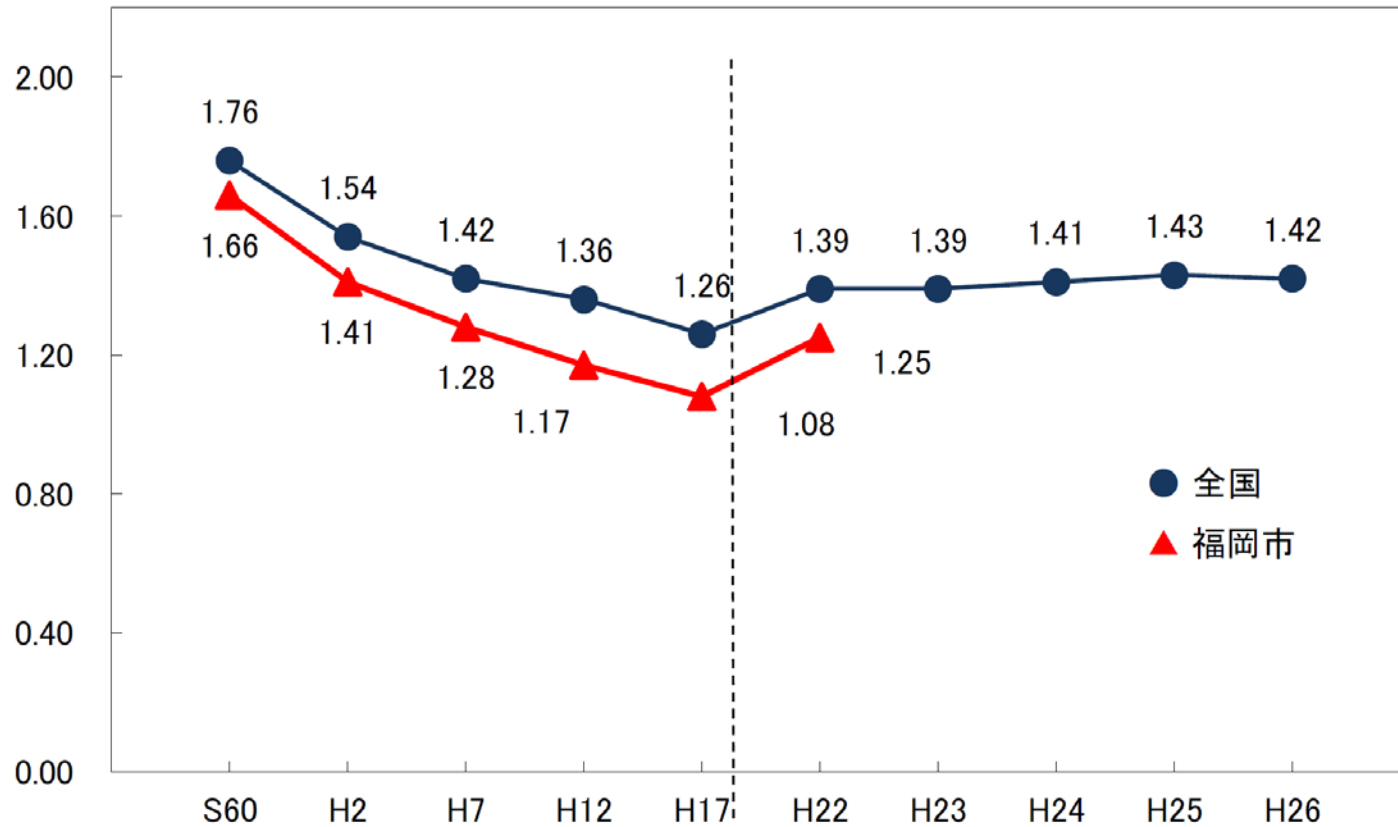


資料:S60~H22=国勢調査、H23~26=推計人口、H27~52=福岡市の将来人口推計(2012年3月推計)

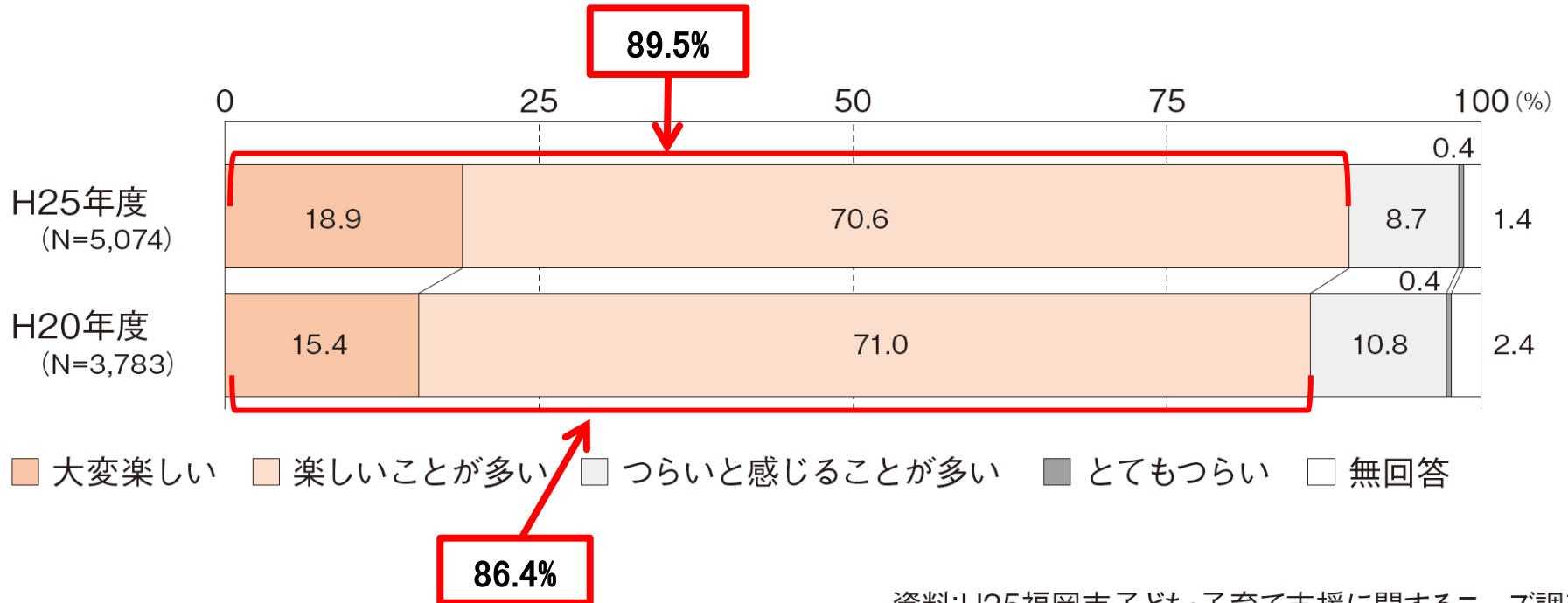
出生数と出生率の推移



合計特殊出生率の推移

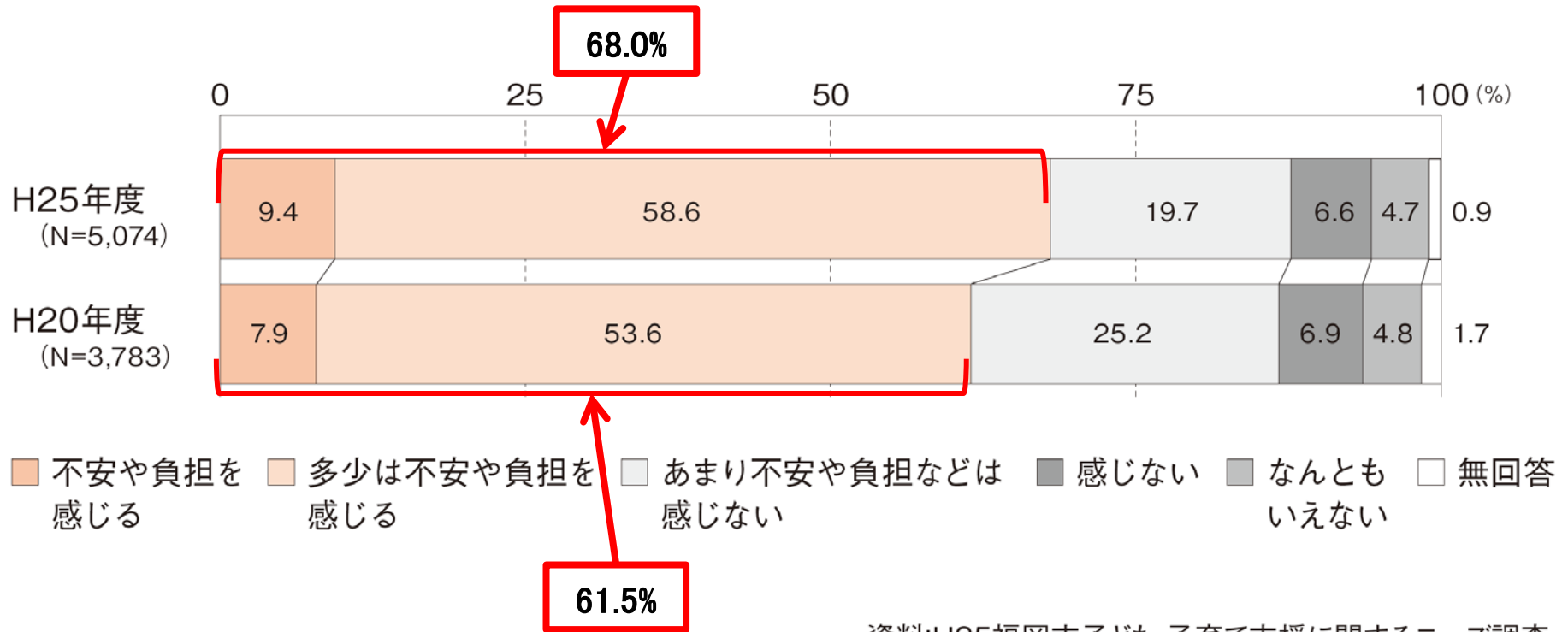


子育ての楽しさ(乳幼児の保護者)

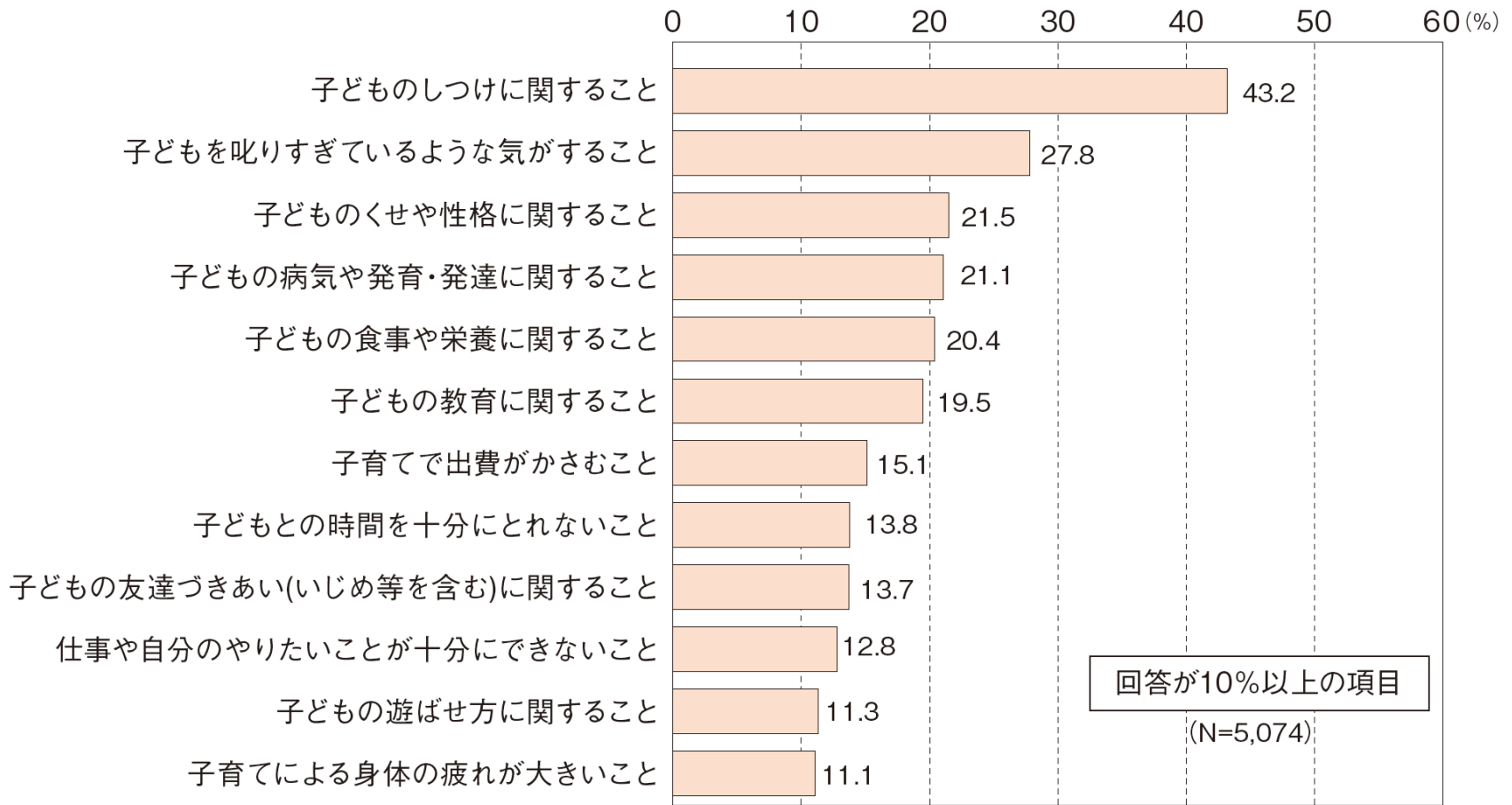


資料:H25福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

子育てへの不安・負担感(乳幼児の保護者)

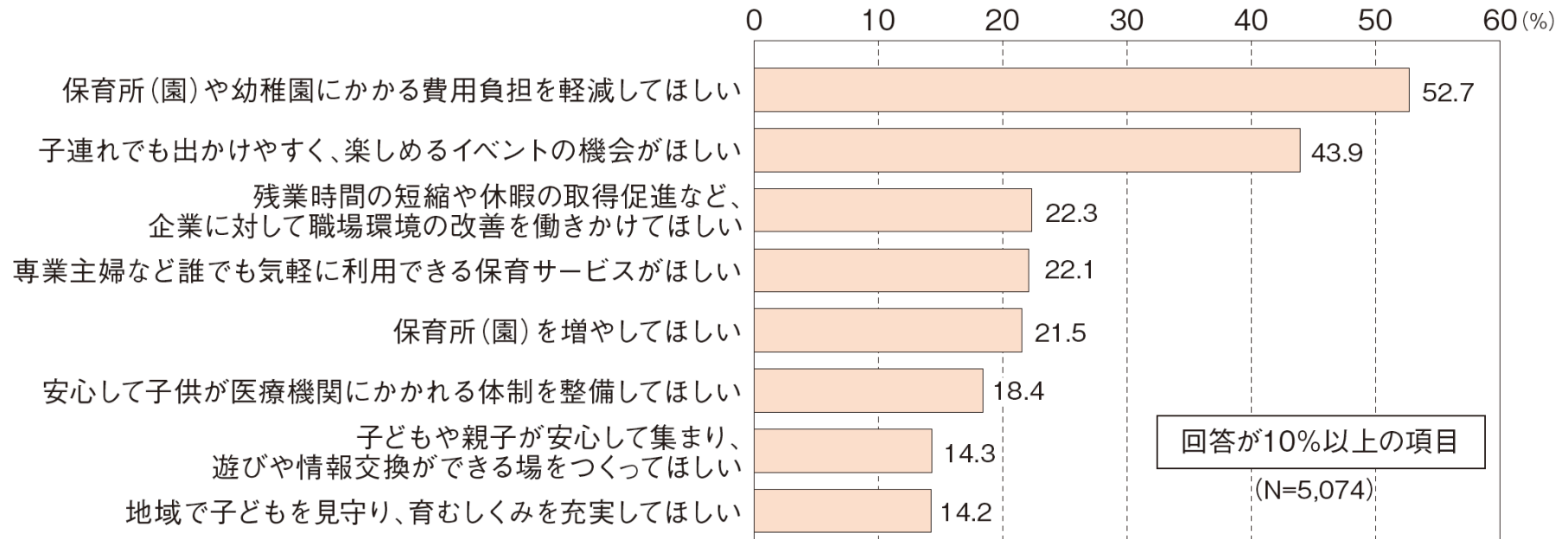


子育ての悩み(乳幼児の保護者)



資料:H25福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

充実してほしい子育て支援



資料:H25福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

第4次福岡市子ども総合計画 [計画期間：H27-H32年度]

子どもの権利を尊重する社会づくり

目標
1

- 子どもに関する相談・支援体制の充実
- 社会的養護体制の充実
- 子ども・若者の支援
- 子どもの権利の啓発
- 児童虐待防止対策
- 障がい児支援
- 子どもの貧困対策
- 子どもの社会参加の促進

安心して生み育てられる環境づくり

目標
2

- 幼児教育・保育の充実
- ひとり親家庭への支援
- 仕事と子育ての両立に向けた環境づくり
- 子どもや子育て支援に関する情報提供
- 母と子の心と体の健康づくり
- 子育て家庭への経済的な支援
- 子育てを支援する住まいづくり・まちづくり

地域における子育ての支援と健やかな成長を支える環境づくり

目標
3

- 地域全体で子どもを育む環境づくり
- 子どもの遊びや活動の場づくり
- 子ども・若者の社会的自立に向けた取組
- 子どもの健やかな成長を支える取組
- 子ども・若者の自己形成支援
- 子ども・若者の安全を守る取組と非行防止

福岡市の子ども・子育て支援

子ども・子育て支援新制度に関する事業

福岡市の事業名	国の事業名
●幼児教育・保育★	
●地域子ども・子育て支援事業	
福岡市保育コンシェルジュ★	利用者支援に関する事業
延長保育事業	時間外保育事業
留守家庭子ども会事業★	放課後児童健全育成事業
子どもショートステイ	子育て短期支援事業
こんにちは赤ちゃん訪問事業★	乳児家庭全戸訪問事業
虐待防止等強化事業、母親の心の健康支援事業★	養育支援訪問事業
子どもプラザ★	地域子育て支援拠点事業
一時預かり事業	一時預かり事業
病児・病後児デイケア事業★	病児保育事業
ファミリー・サポート・センター事業	子育て援助活動支援事業
妊婦健康診査★	妊婦に対して健康診査を実施する事業

福岡市の子ども・子育て支援

幼児教育・保育★

■ 保育所・幼稚園の状況

(H27年4月1日現在)

区 分		箇所数
教育・保育施設	保育所	207
	幼稚園	127
	認定こども園	4
地域型保育事業	家庭的保育事業	8
	小規模保育事業	60
	事業所内保育事業	4

※幼稚園は5月1日現在

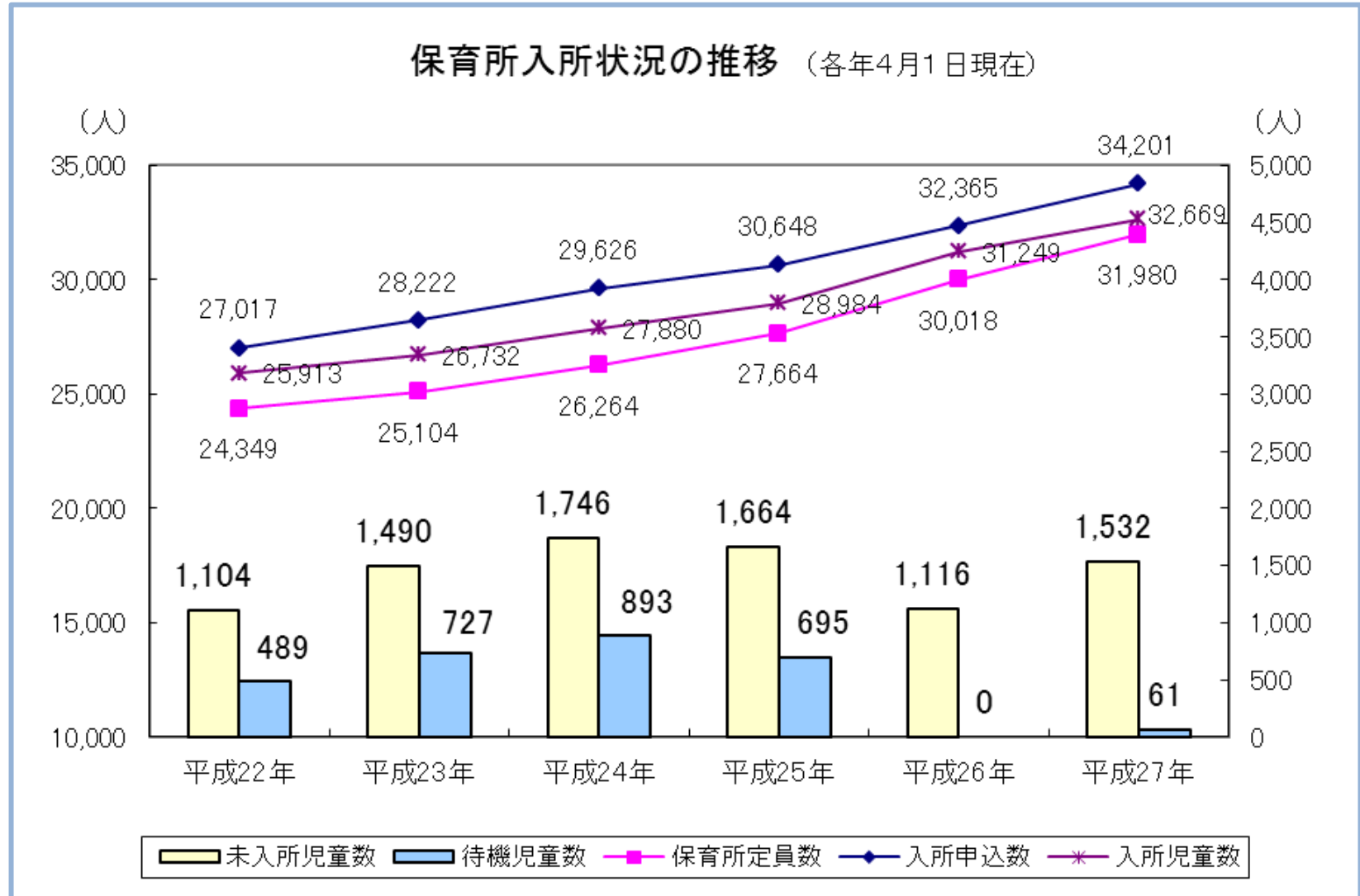
■ 保育所・幼稚園の利用状況

(H27年4月1日現在)

区 分	人 数	割合(%)
保育所等	32,669人	約38%
認可外保育施設	2,812人	約 3%
幼稚園	21,106人	約25%

※幼稚園は5月1日現在

福岡市子ども・子育て支援



【H27年4月1日現在】 入所児童数：32,669人、未入所児童数：1,532人、待機児童数：61人

- ・共働き家庭の増加
- ・転入世帯が多いこと



保育需要が増大

年度	就学前児童数	保育所入所申し込み状況		
		申込率	入所申込数	増減
H 23	81,213人	34.8%	28,222人	
H 24	82,978人	35.7%	29,626人	+ 1,404
H 25	83,477人	36.7%	30,648人	+ 1,022
H 26	84,168人	38.5%	32,365人	+ 1,717
H 27	84,678人	40.4%	34,201人	+ 1,836

※各年とも4月1日現在

増大する保育需要への対応が必要



- 保育所、認定こども園、小規模保育事業等、多様な手法での定員増

【取り組みの状況】

▷ 過去5年間で7,631人分の定員増

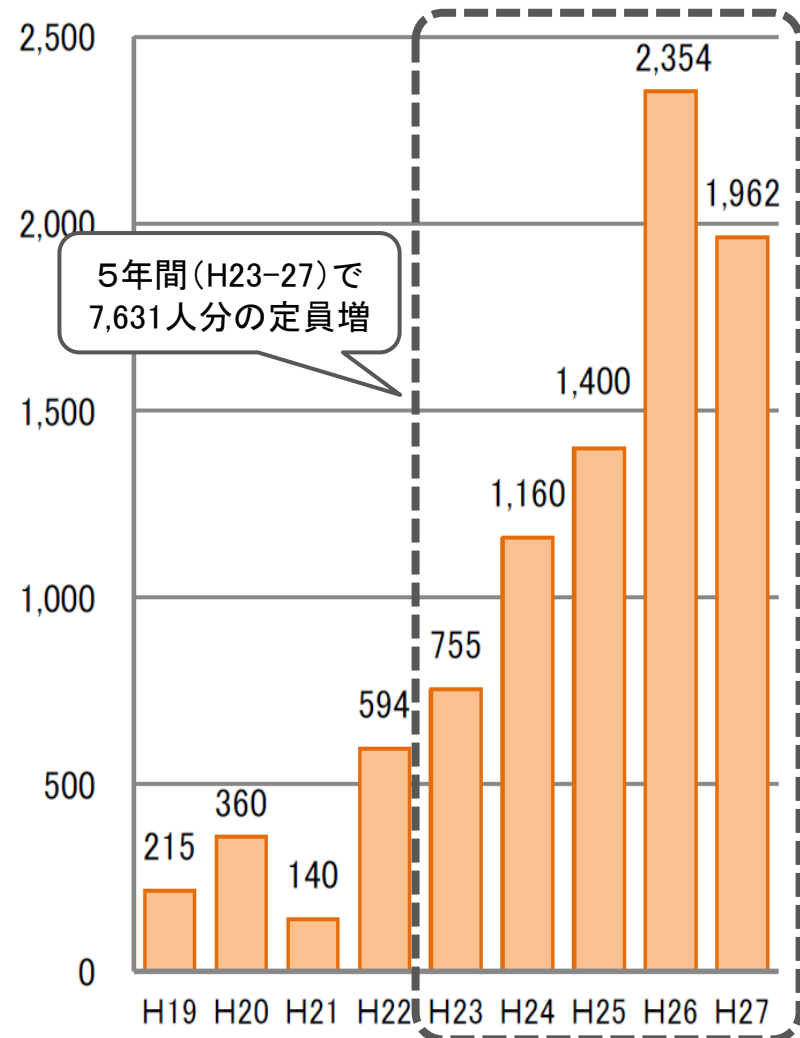
平成27年度に向けた整備(1,962人)の内訳

- ・保育所整備等 1,470人分
- ・小規模保育事業等 492人分

▷ 28年4月に向け1,600人分の定員増(予定)

- 保育コンシェルジュ★による情報提供・助言 (平成25年度～全区役所[7か所]に配置)

定員増の状況



福岡市の子ども・子育て支援

保育士などの人材確保

- 「保育士・保育所支援センター」での就職あっせん
- 保育士就職支援研修会（再就職希望者等向け）の開催（年6回）
- 大学等の指定保育士養成施設等（20校）での就職支援・相談会（学生向け）

福岡市保育士・保育所支援センター

<開設時間>

月～金曜日 9:00～17:30

<業務内容>

- ・潜在保育士の就労に関する相談
- ・求職者への就職先のあっせん
- ・保育所等からの求人に関する相談
- ・求職者と求人施設のマッチング
- ・保育所等に勤務する保育士や保育士資格取得希望者からの相談

<求職・あっせんの状況>

	求職票登録数	あっせん数	雇用成立数
25年度	415	346	246
26年度	254	230	158
27年度*	224	113	71
計	893	689	475

*平成27年度は12月9日現在

福岡市の子ども・子育て支援

留守家庭子ども会事業 ★

就労等のため、放課後に帰宅しても保護者が不在の家庭の児童に、遊びと生活の場を提供

●開設数 市内の小中学校内に、136か所開設

●開設時間 月曜日～金曜日：放課後(学校休業日は午前8時)～午後7時
土曜日：午前8時～午後6時

●入会児童数 13,782人(H27年4月現在)

学 年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
入会児童数	4,980	4,122	2,854	1,249	449	128	13,782
入会率	37.0%	30.5%	21.9%	10.3%	3.6%	1.0%	17.8%

●利用料

区 分		金 額
基本時間帯	午後5時まで	月額3,000円
1時間延長時間帯	午後6時まで	月額1,000円加算
2時間延長時間帯	午後7時まで	月額2,000円加算
土曜日利用		月額2,000円加算

※就学援助受給世帯、きょうだい児等の減免あり

福岡市の子ども・子育て支援

病児・病後児デイケア事業★

子どもが病気の際、保護者の仕事等で家庭での看護が困難な場合に、一時保育を実施

●対象

0歳～小学校6年生

●利用料金

2,000円／日

※非課税世帯等への減免あり

●利用時間（当日予約可）

月～金：午前8時30分～午後5時30分

土曜日：午前8時30分～午後1時

●設置場所 ※ H27年12月現在

18か所（いずれも小児科内）

●利用者数

平成26年度： 22,431人

平成25年度： 22,789人



病中のお子さまを、
安心ケアでお預かりします。



- 1 利用される場合には事前に電話での予約が必要です。
(予約をキャンセルされる場合も必ず連絡をしてください。)
- 2 昼食を希望される方は、午前10時までにお申し込みください。
- 3 他医院を受診中の方は、かかりつけの医師の病児デイケアルーム利用依頼書または診断書をもらい、それをお持ちください。
- 4 事前に病児デイケアルーム利用登録を行なっていると初めて入室される際、手続きが簡単に済みます。
- 5 お子さまの症状が重症の場合や施設の入室状況等によりお断りする場合があります。
- 6 福岡市には、次の18カ所の施設があります。

実施施設名	住所	電話番号
植山小児科医院	東区若宮5丁目20-8	681-4515
ならざき小児科病児保育室	東区和白5丁目7-15	090-1161-7377
ふかざわ小児科	東区若宮1丁目22-19	661-8111
梅野小児科内科医院	博多区千代1丁目33-2	651-1577
中尾小児科医院	博多区中呉服町1-16	291-4325
高岸小児科医院	博多区銀天町1丁目2-11	080-9243-9213
大名よねくら小児科クリニック	中央区大名2丁目9-18	751-1755
松尾小児科医院	中央区薬院3丁目11-8	521-7277
まんだら医院	中央区梅光町2丁目10-20	701-1565

母子保健事業

- 産科医療機関などと連携し、必要な妊産婦に対し、妊娠期から保健師の家庭訪問などによる支援を実施
- 専門職の全家庭訪問等により、育児不安が強い産後早期の支援を実施
- 乳幼児健康診査等で支援が必要な母親を把握⇒保健師の家庭訪問、支援員派遣等を実施

母子保健事業等に関する主な取り組みと開始時期

平成13年度 新生児訪問指導に「エジンバラ産後うつ病質問票」(EPDS)導入

平成14年度 子育て交流サロンの開設開始(154か所/ H27.3月末現在)

平成16年度 子どもプラザ開設(14か所/ H27.12月現在)

平成17年度 養育支援家庭訪問(子ども家庭支援員派遣)開始

平成20年度 こんにちは赤ちゃん訪問開始

平成22年度 乳幼児健診の未受診者フォローを強化
(保健師訪問の早期化、全家庭化、区児童相談部門との連携強化)

平成23年度 生後1～3か月児の育児相談会開始

平成24年度 乳幼児健診の問診票改正(母親の育児感情や疲れ、育児環境等の項目を大幅に追加、問診を強化)
産科医療機関と連携した妊娠時期からの支援を開始

平成27年度 新生児訪問指導の拡大

福岡市の子ども・子育て支援

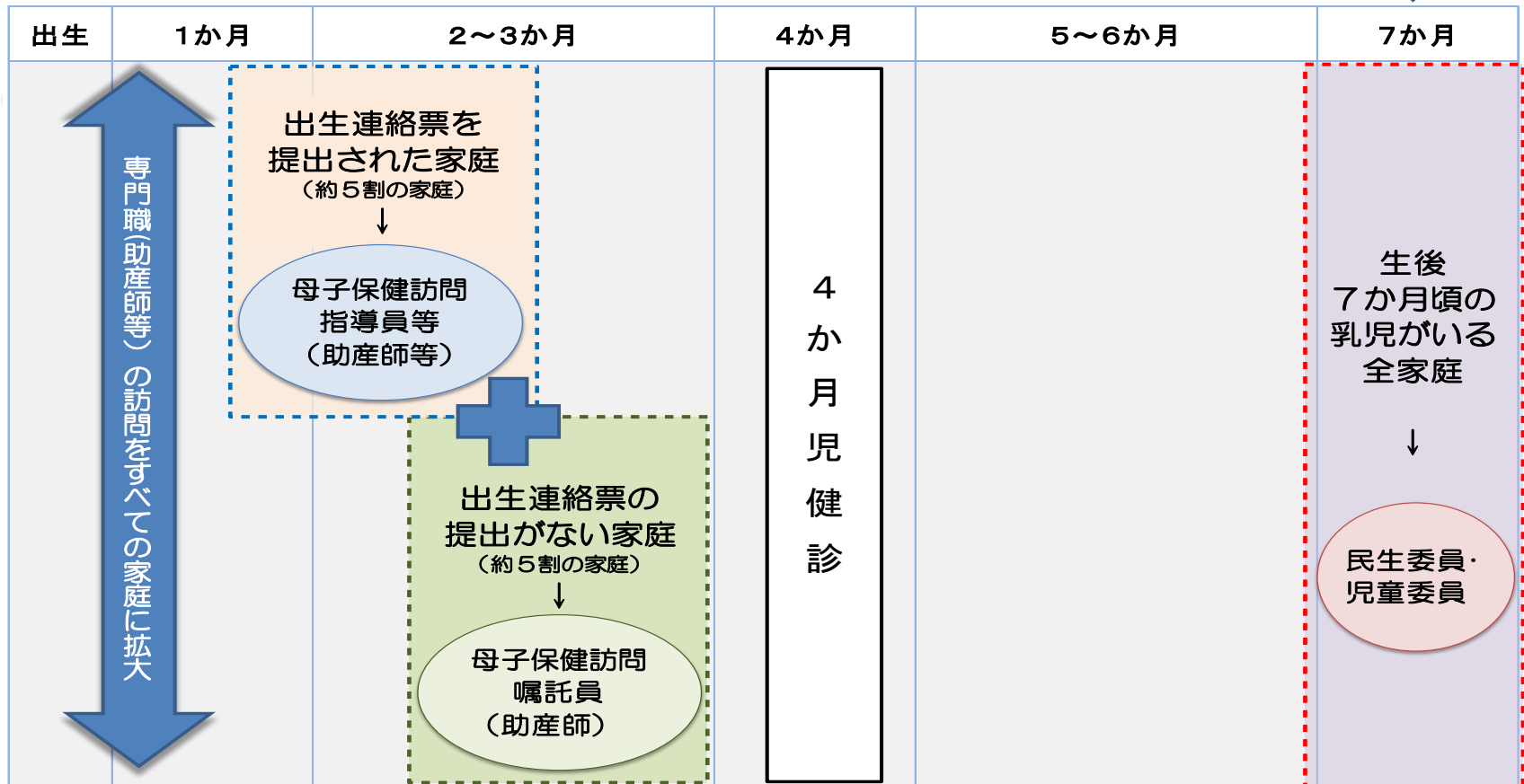
こんにちは赤ちゃん訪問事業★

虐待防止等強化事業、母親の心の健康支援事業★

●育児不安が強い出産後早期の支援を図るため、専門職(助産師等)が全家庭を訪問

●さらに、生後7か月ごろ、民生委員・児童委員が全家庭を訪問

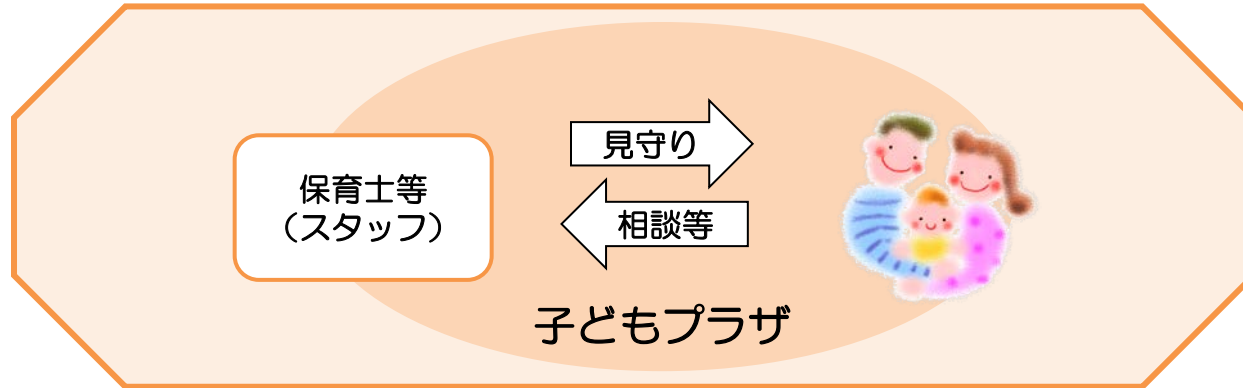
⇒ 支援が必要な人をできるだけ早く発見し、支援につないでいく



福岡市の子ども・子育て支援

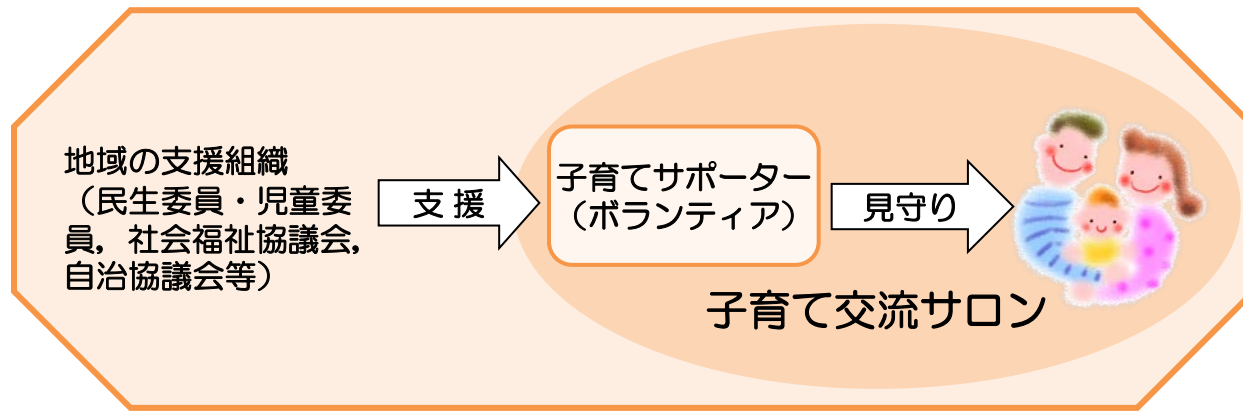
子どもプラザ★＝地域の子育て支援活動拠点

- 地域における子育て支援活動拠点／14か所
- 乳幼児親子がいつでも利用できる常設の遊び場。子育てに関する相談・情報提供も実施



子育て交流サロン＝身近な小学校区での交流の場

- 公民館(各小学校区に設置)などで、月2回程度開設／154か所(H27年3月末現在)
- 地域の子育てサポーターの見守りのもと、乳幼児親子が自由に過ごすことができる



福岡市の子ども・子育て支援

子どもに関する相談・支援

●福岡市こども総合相談センター

子どものための総合的な相談機関／電話相談は24時間対応

●家庭児童相談室

7区役所に設置している相談窓口(各区子育て支援課内)

●子ども家庭支援センター

市内2か所に設置／夜間・土日祝日に開所

子ども総合相談センター

<相談内容>

- ・赤ちゃんの育児不安
- ・子どもの発育や発達の遅れ
- ・子ども自身の身体の悩みや性に関すること
- ・ひきこもりや、不登校、いじめなど
- ・家庭内の暴力、夜間徘徊、万引きや盗みなど
- ・家庭で子どもの養育が困難なときの相談
(養育者の病気や死亡、置き去りなど)
- ・虐待に関する相談
- ・里親に預けたい、里親になりたい など



福岡市の子ども・子育て支援

多子世帯への経済的支援

●第3子優遇事業

対象者

市内に住み、18歳未満(18歳に達する年度末まで)の児童を3人以上養育している保護者で、第3子以降の児童が「小学校入学前の3年間」の期間にある方

事業の内容

3番目以降のお子さんが...

幼稚園に通っている
(新制度に移行していない園)



保育料・入園料に対し助成(就園奨励費と合わせ年額30万円を限度) ※市立幼稚園は保育料・入園料を免除

認可保育所・認定こども園
(保育部分)に通っている



利用者負担額・保育料を免除

新制度に移行した幼稚園、認定こども園(教育部分)に通っている



利用者負担額を免除

児童発達支援センター等に
通っている



利用者負担金を免除

保育施設等(認可外保育所等)を
利用している



利用料に対し、保育施設等利用手当を支給
(月2万5千円を限度)

家庭内養育などをしている



第3子手当を支給(月額1万円)
※所得制限あり(申請者・配偶者の総所得金額の合計が1千万円以下)

福岡市の子ども・子育て支援

現状・課題と必要な取り組み

< 現状・課題 >

●子育てへの不安・負担感

- ・孤立しがちな子育て家庭、子育てに不安や負担を感じる家庭の増加
- ・特に、出産前後の育児不安が強い時期における母親への支援 など



●増大する保育ニーズ

- ・共働き家庭の増加などによる
 - －保育を必要とする子どもの増加
 - －放課後に保護者が不在の家庭の増加
- ・保護者の就労形態の多様化 など



●経済的支援が必要な家庭の増加

- ・非正規雇用で働く人の割合の上昇
- ・ひとり親家庭の増加 など



●仕事と子育てが両立できる環境づくり

- ・マタニティハラスメント、パタニティハラスメント
- ・男性の家事・育児への参加が少ないこと
- ・長時間労働 など



< 必要な取り組み >

- ◆妊娠・出産期からの切れ目のない支援
- ◆地域全体で子どもを育む環境づくり
- ◆乳幼児親子の遊びや交流の場づくり

- ◆質の高い教育・保育の確実な提供
- ◆多様な保育サービスの一層の充実

- ◆子育てに係る経済的負担の軽減
- ◆ひとり親家庭に対する教育・生活支援、就業支援

- ◆事業者等との共働による、男性も女性も、子育てをしながら安心して働き続けられる環境づくり

※ 児童虐待、社会的養護、貧困、障がい児支援、子どもの健全育成・自立支援、安全・安心等の分野を除く

こども未来局の予算

こども未来局予算

(単位:千円)

会計別		平成27年度 予算額(A)	平成26年度 予算額(B)	差引増減額 (C)	対前年度比 (A) / (B)
一般会計	歳出	97,252,904	90,944,981	6,307,923	106.9%
	歳入	61,441,264	52,383,411	9,057,853	117.3%
特別会計	歳出	1,226,543	1,319,546	-93,003	93.0%
	歳入	1,226,543	1,319,546	-93,003	93.0%
合計	歳出	98,479,447	92,264,527	6,214,920	106.7%
	歳入	62,667,807	53,702,957	8,964,850	116.7%

※ 一般会計の内訳

区 分	歳 出	歳 入	歳出構成比
教育・保育	44,317,221	29,541,065	45.6%
児童手当等	33,133,868	24,259,209	34.1%
障がい児支援	4,341,121	2,805,197	4.5%
留守家庭子ども会	2,889,888	1,658,048	3.0%
母子保健	2,492,624	430,858	2.6%
児童養護施設等	2,308,807	1,137,641	2.4%
地域育成活動促進	542,955	150,767	0.6%
こども総合相談センター	445,478	95,407	0.5%
ひとり親福祉	166,635	96,015	0.2%
その他	2,625,539	1,242,682	2.7%
総務費*	3,988,768	24,375	4.1%
計	97,252,904	61,441,264	

※ 子ども医療費等(約48億円)は別途保健福祉担当部局で計上

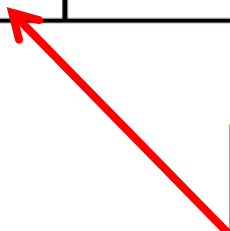
* 総務費:人件費(一般職461人)、審議会経費等

こども未来局の予算

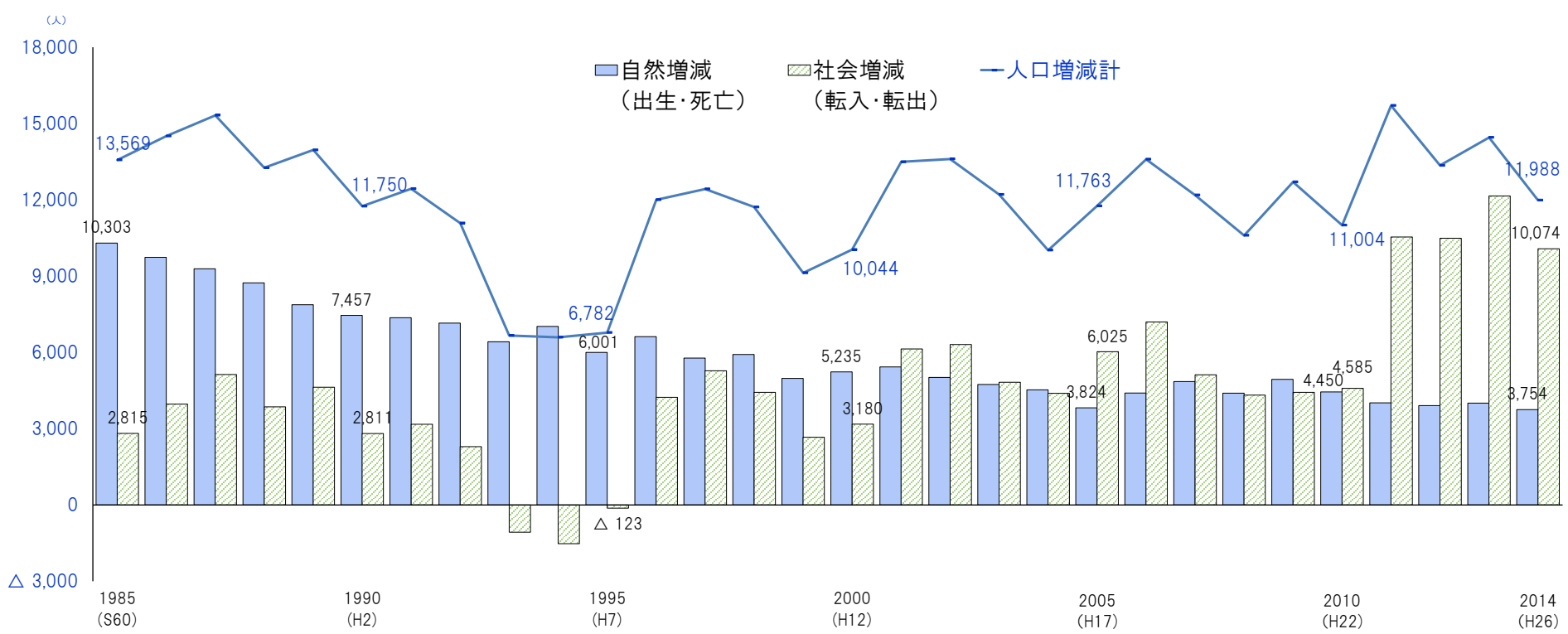
市全体予算に占める割合

(単位:千円)

	平成27年度 予算額(A)	平成26年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B) = (C)	対前年度比 (A) / (B)
こども未来局(a)	97,252,904	90,944,981	6,307,923	106.9%
福岡市(b)	781,950,000	776,340,000	5,610,000	100.7%
構成比(a/b)	12.4%	11.7%		

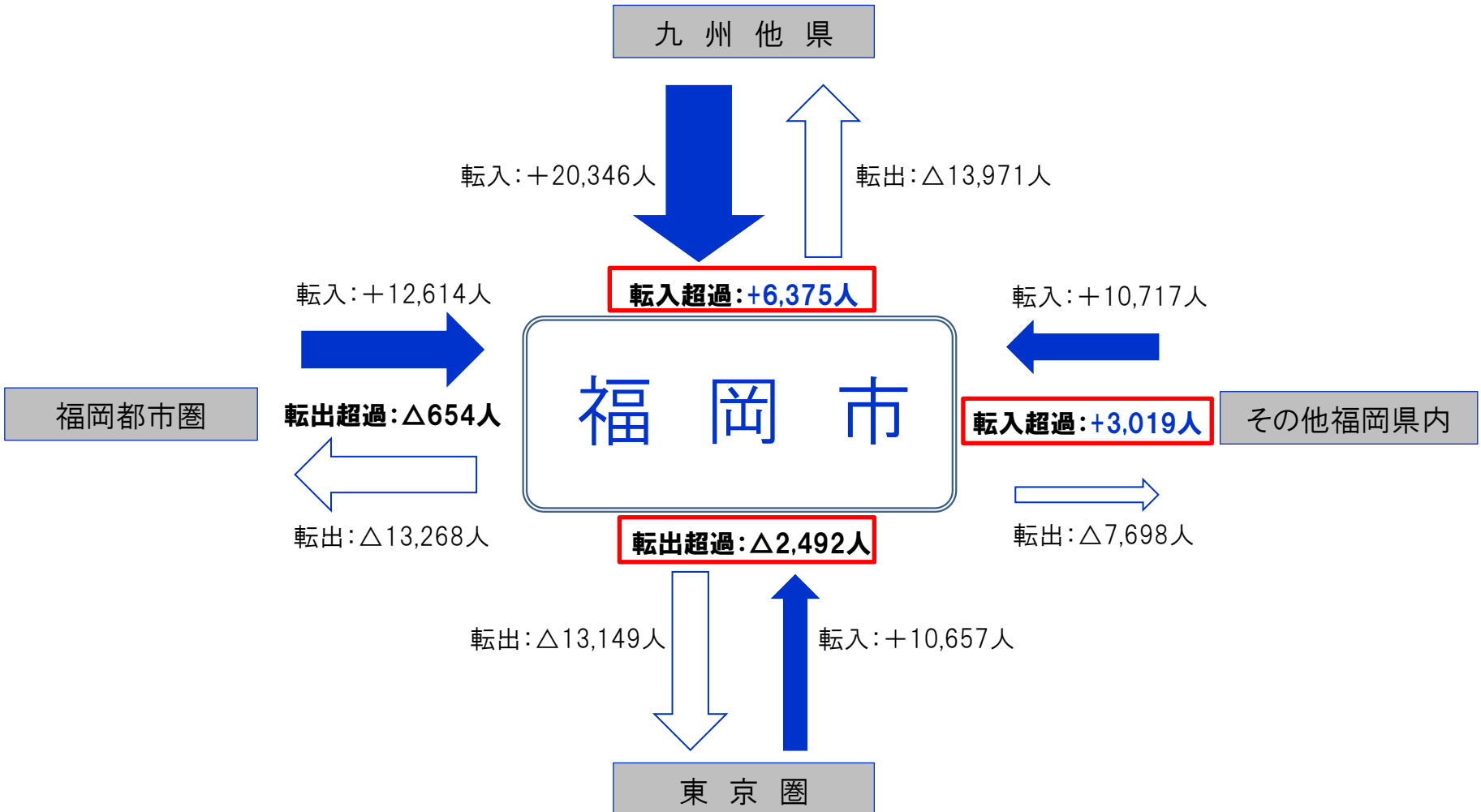

$$\frac{\text{こども未来局予算}}{\text{福岡市全体の予算}} = 12.4\%$$

人口動態(社会増減・自然増減)の推移



(注) 帰化、国籍離脱等による増減により、社会増減と自然増減の合計と人口動態計は合っていない
 資料: 住民基本台帳(外国人を含む*2011年以前は「外国人登録」)

地域別社会移動の状況(H26年)



(注)東京圏…東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県のみ(以下同じ)
資料:住民基本台帳(日本人のみ)